



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年1月20日発行 第2778号

瀬戸ロータリークラブ 会長 松村 晋也

松の内も終わり 厳しい寒さが続いております。皆様には御健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて昨年末より続いておりますコロナ第3波は年明けには収まるだろうとの期待に反し、益々感染拡大し今では感染爆発と言われております。医療の現場はすでに崩壊の寸前であり、重症者、死亡者も増加の一途を辿っております。このような状況を受け国もやっと1都3県に緊急事態宣言を発出しました。愛知県も同様の状態であり、国へ緊急事態の要請をしております。ロータリーは対面での例会が本来の姿ではありません。しかしこのような現状では、安全安心な例会は無理であろうと判断しました。そこで1月20日1月27日2月3日(緊急事態宣言の期間)をWEB例会とさせていただきますと思います。何卒ご理解たまわりますようお願い致します。時節柄 会員の皆様にはお身体に十分ご自愛下さいませ。



第2954回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆様、こんにちは。

今日は瀬戸ロータリークラブ第2954回の例会でございます。本日もウェブでの例会という事でさせていただきます。1月はサンデゴの国際協議会で次年度のRI会長が自分のテーマを発表する場であります。今ロータリーはRI会長を頂点として、世界のガバナーが500何人だそうですが、参加します。それを持ち帰って、ガバナーが自分の地区方針を決めます。次にそれぞれの各クラブの会長がその方針を聞き、自分の年間の方針を決めるという事です。RIの会長がテーマを話すことによって、その1年間のロータリーの基本的な執行姿勢みたいなものが決まるという大事な発表であります。昨年は、コロナで揺れた1年間でしたが、1月は中国の武漢では感染があったのですが、世界的なパンデミックになっていなくて、1月の国際協議会は開催され、今期のホルガー・クナークRI会長はそこで方針を発表されたわけです。このRI会長のテーマはメッセージともいいますが、このRIの115年の歴史で最初から発表されたわけではありません。実は1949年から1950年度第41代のRIの会長アーサー・レグという方からテーマが始まったわけでありまして、この時テーマが4つ発表されました。その次の42代会長の時は、テーマが5つ発表されました。不思議なことに43代・44代会長の時にはテーマがなかったのです。45代会長以降、ホルガー・クナーク現会長に至るまで、テーマが発表されております。初期のころはテーマが複数発表されましたが、最近では、テーマは1つに絞られ、出来るだけ簡潔な言葉で表現されていますが、時々禅問答のようにその真意が分かりにくいということがあります。

因みに、ホルガー・クナーク会長は、「ロータリーは機会の扉を開く」ということでありま

て、我々ロータリアンは色々な奉仕活動をするにあたって、その機会はいくらでもあるので、どうぞその扉を開いて奉仕活動に専念してくださいという意味合いだと思っております。

日本人のRI会長は3名排出されております。1人目は東ヶ崎潔という方で第60代の会長で、「参加し敢行しよう！」というテーマでありました。2人目は向笠廣次という方で代74代の会長で「人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう」というテーマでありました。それで国際協議会の会場で「さあ皆さん隣の初対面の方と挨拶をして下さい」と呼びかけたのです。そのことが話題になったという事でありました。それから、直近が田中作次さんでございます。「奉仕を通じて平和を」という事でありました。この方は2760地区には馴染の方で、WFFに来て頂いたり、IMで特別講演をして頂いたりしました。

この様に早くそのRIのテーマが知りたいという事になるわけでありまして。それで、最初のころは、国際協議会の会場に郵便のシステムが完備しており、その後は電話や電報、FAXから今では電子メールとなり、一瞬にして全世界に配信されるわけです。そのRIのテーマと言うものが、我々ロータリアンのその年度の執行姿勢となるものですから、出来るだけ早く知りたいという事になるわけでありまして。

今年の1月の国際協議会がコロナの真最中でありまして、オンラインでの開催かもしれませんが、いずれにしても国際協議会でのテーマの発表は重要な事でありまして。

以上、今日は1月に因みまして、RI会長のテーマと言うお話をさせていただきました。会長挨拶とさせていただきます。

本日のプログラム

2021年1月20日(水)

通算第2955回例会

本年度第22回

WEB例会

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・出席状況
- ・幹事報告

前回例会記録

2021年1月13日 第2954回例会

WEB例会

- ・出席率 WEB視聴 55名中 39名
出席率 70.90%

例会予定

<<<<1月27日(水)>>>>

WEB例会

新型コロナウイルスの近況についてメンバーの医師より説明します。

【野田 正治君より】



現在愛知県においても状況は大変逼迫しています。Covid-19 が陽性になっても、自宅待機かホテルへの入所で、酸素飽和度が 90%を切ると酸素投与が必要になっても病院に入院ができない状況が多数報告されています。名古屋市では救急車を呼んでも入院先が見つからず自宅に戻されるという例もありました。今、感染するとリスクが高い人でも入院は困難です。皆さんの中には気の緩みがある方はおられないと思いますが、かなり厳しい状況ですので感染対策を改めて見直して戴きたいと思います。今後は脳卒中や心筋梗塞、交通事故の外傷などでの入院が断られる事態が予想されます。もう一度、気を引き締め直して下さい。医師会からの心からのお願いです。

【青山 貴彦君より】



現状ではどこに感染者がいてもおかしくない状況です。瀬戸市では病院でもクラスターが発生しており、先週は陶生病院でも職員で感染者第一号が出ており手術に支障を来たす事態になっております。外部で複数の他人が降れる何か(ボタンやドアノブなど)に触れた時には入念に手を洗うかアルコールの入ったウェットティッシュでこまめに拭く事をおすすめします。またご帰宅された際には風呂場に直行して頂いて、洗えるものはすぐ洗い可能であればそのまま入浴されると良いと思います。ワクチンに関しては少しずつ準備を整えている段階で

す。ただ医療関係者の接種が 2 月下旬予定なので、一般にはその経過をみて、3 月ぐらいから接種が始まるようです。

いずれにしても息の長い話になると思います。ワクチンにしても効果判定ができるのは数年後の事です。お一人お一人の心掛けが大事です。会食も 4 人なら大丈夫という訳ではもちろんありません。他者との接触を減らす以外ウイルスを抑え込む方法はありません。もう一度気を引き締め直して頑張りましょう。

【近藤 三博君より】



現在の状態は、年末の瀬戸旭休日急病診療所においても数名の新型コロナウイルス感染者が発生しています。東京や大都市だけでなく、身近に感染者がいると思って行動した方が良いです。瀬戸旭医師会としては、飲食を伴う会を中止していましたが、より強い、会食を伴う会の中止を決めました。皆さんもマスクを外す可能性のある、会食はしばらくの間控えるようにお願いします。いつ誰がどこで感染してもおかしくない状況ですので三密を避け、人と会う時は必ずマスクをつけ、外出から帰ってきたら直ぐに手をよく洗いましょう。

青山 稔君へ 2021 学年度米山奨学生選考の面接官委嘱状が届きました。

昨年 12 月 16 日 Web 例会になってしまい、1 月中もすべて Web 例会になりましたので直接お渡しできませんでした。

2021 学年度米山奨学生選考は第一次選考会が 2020 年 12 月 4 日、第二次選考会が 2021 年 1 月 7 日、第三次選考会(面接試験)が 1 月 9 日に開催されました。

Rotary
District 2760

委嘱状

青山 稔 殿

2021年1月9日に、2760地区の西長委嘱状を委嘱いたします。

ロータリー米山奨学事業の使命は、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育成することです。

申込者の優れた部分を引き出し、米山奨学生として推薦したい学生を選抜するに当たり、豊富な経験と知見によりご協力を賜りたく存じます。

国際ロータリー第2760地区の2021学年度ロータリー米山奨学選考の面接官に委嘱申し上げます。

2020年12月4日

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 岡部 勇

〔加藤 勇〕
2021年1月9日の面接官委嘱状を青山君に直接お渡しし、「米山奨学」の発展に貢献していただきます。